

事務事業名		次世代を担う産業人材育成事業				会計	一般会計					
						事業種別	政策	開始	5	終了		
課等名	工業課	係等名	工業振興係									
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化									
目的	対象(誰・何を)	市内の小、中、高校生				対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	ものづくりに興味を持ち、地域内の企業の魅力を知る。理工系への進学率を高める。地域内ものづくり企業への就職者が増える。					4年生以上の小学生及び中学生：人			6279		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業) 飯田下伊那(億円)					職業高校数			3		
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	楽しかったと感じた参加者の割合：%				95	96	95	95			
	成果指標	工業高校の地元就職率：%				25	28	25	25			
	定性目標											
事業概要	<p>小学生から高校生までを対象にした人材育成事業。地域企業を知り、体験学習を通して、ものづくりなどの楽しさを感じてもらおう。工業界及び職業高校、多様な主体との連携による事業推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供科学工作教室 ・スーパーサイエンス事業 ・ものづくり講座 											
事業内容						名称			活動指標			
24年度事業内容	1 子ども科学工作教室の開催(年4回：小学校4年生以上の小・中学生) 美博と共催 (1)三極モーターを作って走らせよう、(2)ソーラーカーを作って走らせよう (3)天体望遠鏡を作ろう、(4)ロボットを作ろう 2 スーパーサイエンス事業の開催(教育委員会から移管) 3 飯田青年会議所と連携し、「お仕事キッズタウン」の開催【24新規】 4 飯田工業高校と工業界との連携事業 (1)教育教材(インドアプレーン)の普及、インドアプレーンフェスタin飯田開催支援					1 (1)工作教室開催数 (2)工作教室参加延べ人数 2 回数 3 参加人数			1 (1) 4回 (2) 192人 2 3回 3 2,000人			
	事業コスト						23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①		436	802	567	600							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		436	802	567	600							
人件費計(千円)②		286		731								
正規職員所要時間		80		200								
臨時職員所要時間				15								
総事業費①+②		722	802	1,298	600							
事業内容・目標達成状況の振り返り	多様な連携により、新規事業として職業体験版「お仕事キッズタウン」を実施し、多くの小学生に職業を体験していただき、約2,000人の参加があり多くの方から評価をいただいた。年々地域内の職業高校との連携も強まり、各事業の運営に携わってもらうことにより、参加した子供たちの評価もよく、地域内企業との接点も増え、魅力を感じてもらえる機会が提供できた。											
改革改善の考え方	①問題点	対象が小学校高学年向けに集中している。この年代層の事業は、他部署でも多いと感じている。										
	②改革提案	中学生及び高校生を対象にシフトしていきたい。来年度は、地元の実業高校と連携し地域内製造業の魅力を伝える事業を展開していきたい。										